

話^わじやれ (19)

岐久 ようこ

かきね無くなって

「奥飛騨慕情」の歌が流れる

石川と岐阜の県境に名峰「白山」あり

少しはなれて

白川郷、五箇山の合掌造りの集落

そこからでも登れる「人形山」

雪も解けだすころ

人形の「ひとがた」を見せて

富山と岐阜の県境にそびえます

「ここからは」

名高いものを境目に措置された

でも「かきね」なんか

取っちなまえ派がふえましたネ

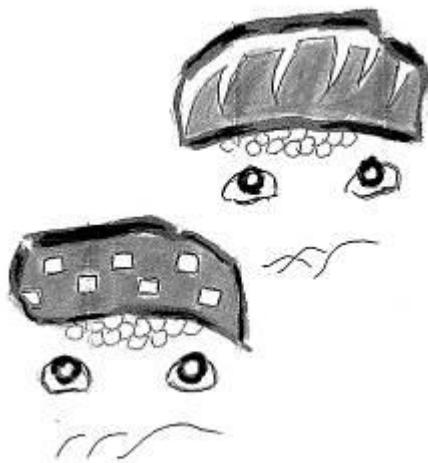
回転ずし店では

刺身だけでなくハンバーガーも流れて

「ここのお寿司うまいぞ！」

「うーん ショートケーキがいい」

そう答える子供たち



海のもの山のものがお揃いで

なんでも廻ってくるよ

日本が発祥の地の回転寿司

世界のどこで誰が創業したなんて

もう いいですよ

山かくれ 谷盛り上がる 胸と腹

行方不明 境目は？ ウエスト・ライン

富士の裾野から

手つかずの原生林もあり

さらに登ると「七曲り」もあり

「七曲りどころか究極の転換地点！」

考えを変えるって事ありますネ

あれほど「独りもの」が看板だった

春風亭昇太さんが結婚！

帝国ホテルで300人を招待し

堂々と披露宴されたって

「おめでどう！」

お父上が自分史を残されていて

マンガも絵描も入れたのが

何冊もでてきたそうです

家系をたどると何と！

川を舟で上ったり下ったりの

「富士川の渡し」が家業であった

日々のごと富士山をあおいで育ち

大学在学中から仲間と

のめり込んだのが落語の世界

もうここはただっ広くて

上がり止まりの真打ち

還暦そこそこ女坂にアタック

ウエディング・ベルにこぎ着けた

今や会長 落語協会の 舵をとる

コロナ禍で 新婚気分は ふきとんだ



去年から今年の間

年の年も押しつまって

彼女が「一日警察署長」になった姿を拝顔

流れ星のような目もと

さぞかし宇宙の星屑でも

見ているでしょうか

周りの山々は紅葉

広い芝生は明るい陽がさしかかる

ゴルフの最終ラウンド

スマイリー・シンデレラの渋谷さんは

2019「女子ゴルフ賞金女王」をめざして

「もしや」観客もザワザワと

だが3位から2位に入ったものの

届きませんでした

ああ 今年の総収入は億はこえてるけど

もうひとつ足しなかったなあ

「この一年は財産だと思うので

来年もがんばりたい」

財産を増やしたいっていうことか

そこまでも

美しいフォームと笑顔が財産でないですか

「うふっふっ」

2019年 今後の資金 できました
2020年 紫外線は 浴びたけど



一試合づつの甲子園

3年間つらい思いをして

3年生はここ迄こぎ着けてきて

「春の選抜高校野球」が中止と発表

もんもんとする選手ら

練習もストップの日々

「コロナ・ウイルスに負けるな」

「何とかならないか」

そこで各県が独自の試合をしたのち

選出された32高校

甲子園での強い夏の陽射しの下

お盆に交流試合がなされた

野球部員たち、キャプテン、監督そろって

「試合させてもらった！」

「甲子園の舞台に立った！」と感謝

一番バッター○○くん

九番バッター○○くん

響くのはいつもと同じでも

女子生徒の応援団はなし

拍手の応援のみ

ムクゲ咲く、ひと夏だけの
思いは「メガトン球」とんだ！

黒から 白靴になった 今夏から
髪だけは 丸坊主かな 10年後

